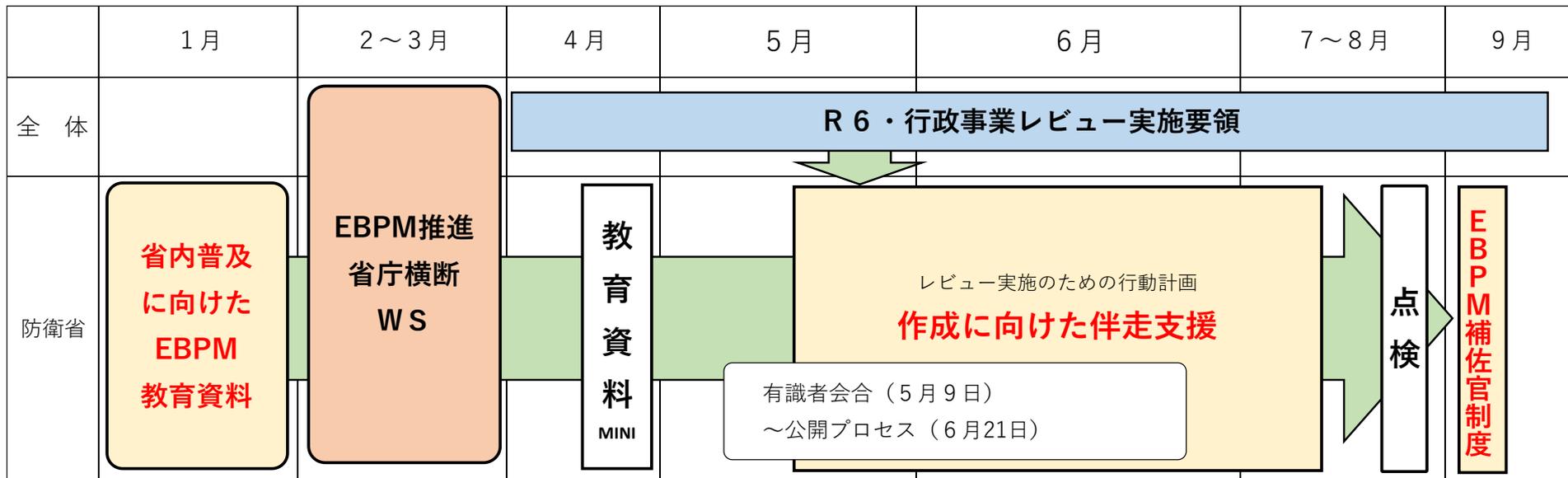


行政事業レビューシート（RS） 品質管理・改善に向けた取組

令和 6 年 9 月 26 日
防衛省

RSの品質管理・改善に向けた取組<スケジュール>



普及・省内展開

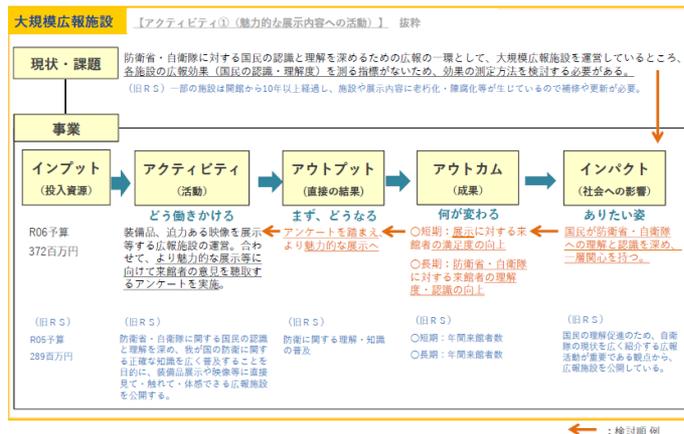
実践：○WS成果の整理・活用
○ロジックモデルの作成・提案

RSの品質管理・改善に向けた取組<普及・省内展開>

「EBPMガイドブック」、「RS／政策効果の測定のポイント」

→ R5優良事業改善事例を題材に **EBPM関連教育の実施**・省ポータルへの資料掲載

大規模広報施設



EBPM

・EBPM

EBPMの概要 R6.1更新

EBPMガイドブック

防衛省行政事業レビュー優良事業改善事例 大規模広報施設 能力構築支援事業 R5.9更新

新

【事務連絡】今後のEBPMの取組について (R6.1.30付行革事務局事務連絡) R6.1更新

行政レビューシート/政策効果の測定のポイント R6.1更新

行政事業レビューシート作成ガイドブック R6.4更新

レビューシートガイドブック及び政策効果の測定のポイントの解説会 資料 動画1-2 3 4 R6.5更新

EBPM補佐官派遣制度等 R6.4更新

RSの品質管理・改善に向けた取組<実践～WS成果の活用～>

WSの成果

- ✓時代・環境の変化→事業の**現状**・**課題**や**事業の目的**を整理・言語化
- ✓事業の必要性・効率性より**有効性に着目**
- ✓**成果目標**とその**成果指標**は何か？
- ☞活動を**日々の段階的な取組にブレイクダウン**
- ☞短期的な進捗を**確認する目標・指標**と長期的に**目的に向かう目標・指標**



- ①**法執行事務に関連したRSを推進部局が選定**（約10事業）
- ②**WSの成果を参照しながら活動等の整理が見込めるRSに着目**（約10事業）



RSの品質管理・改善に向けた取組<実践～RSの改善に向けた着眼点①～>

「装輪車両の修理費の取得」

- ☞課題：材料費の高騰に伴い、各種部品等の単価も高騰中
- ☞事業の目的：戦力発揮、災派等の部隊移動・物品輸送に不可欠な装輪車を常に良好な状態に維持し、故障時には速やかに復旧し部隊の即応性を維持

見直し前

- ☞アウトプット：装輪車両の維持整備
- ☞長期アウトカム：部隊の即応性の維持

改善の
着眼点

- ✓具体的な取組を整理できないか？
- ✓具体的な取組を整理した上で、
短期的・長期的な事業の進捗を測る指標の設定は可能か？

ロジックモデル
作成課とコミュニケーション

見直し後
(最終版)

- ☞アウトプット：車両の維持整備に要する予算の配分
- ☞アウトカム：（定期修理）交換部品の購入 → 定期整備実施台数
（不定期修理）不定期に発生した故障車の修理完了割合

R S の品質管理・改善に向けた取組<実践～ロジックモデルの提案①～>

「装輪車両の修理費の取得」 【推進部局の当初提案】

アクティビティ
(活動)

どう働きかける

陸上自衛隊の整備
部隊等が必要な車
両修理費を確保・
配分する

アウトプット
(活動結果)

まず、どうなる

[目標]装輪車両の維
持整備に必要な予算
の配分

[指標]予算額の確保

アウトカム
(短期)

何が変わる

定期修理

[目標]定期修理により、
継続した車両の運用に資
する

[指標]当初計画における
定期修理契約件数

不定期修理

[目標]計画外の故障にも
不定期修理可能な体制を
構築する

[指標]当初計画外の不
定期修理契約件数

アウトカム
(長期)

[目標]定期修理を実施し、
安定した機動性を確保す
る

[指標]定期修理対象車
両数

[目標]計画外の故障に不
定期修理を実施し、継続
した車両の運用に資する

[指標]不定期修理対象車
両数

RSの品質管理・改善に向けた取組<実践~RSの改善に向けた着眼点②~>

「援護業務に要する経費」

※事業概要：（企業広報）退職予定自衛官の再就職支援制度を周知する援護広報等を通じ、企業が理解を促進し、再就職支援**希望者全員が再就職を達成するために十分な求人を獲得**。
（援護教育）**退職後の生活の不安解消**・有用な知識技能教育を付与し、再就職支援希望者全員が再就職を達成。

見直し前	<p>☞ アウトプット：（企業広報）部隊見学の開催 （援護教育）援護教育等の各種施策の検討、拡充</p> <p>☞ アウトカム：（企業広報）参加企業等からの求人の確保 →再就職支援希望者全員が再就職するに要する求人の獲得 （援護教育）業務管理教育、職業訓練、キャリアカウンセラーに進路相談 →再就職支援希望者全員の再就職実現</p>
------	--

改善の着眼点	<p>✓ 課題（再就職希望者全員の受入れ先の確保、将来への不安解消） → 解決に向けた具体的な取組を整理できないか？</p> <p>✓ 具体的な取組を整理した上で、 各取組がどのように解決に向かっているかを測る指標の設定は可能か？</p>
--------	--

ロジックモデル 作成課とコミュニケーション

見直し後 (最終版)	<p>☞ アウトプット：（企業広報）①部隊見学の開催／②合同企業説明会等による働きかけ （援護教育）①キャリアカウンセリングの提供／②業務管理教育・職業訓練の企画・拡充</p> <p>☞ アウトカム：（企業広報）①・②参加企業等からの求人の確保 →再就職支援希望者全員が再就職するに要する求人の獲得 （援護教育）①不安払拭【アンケートで満足度を測定】／②職業知識技能の習得 →再就職支援希望者全員の再就職実現</p>
---------------	--

RSの品質管理・改善に向けた取組<実践～ロジックモデルの提案②～>

「援護業務に要する経費」【推進部局の当初提案】

アクティビティ
(活動)

どう働きかける

アウトプット
(活動結果)

まず、どうなる

アウトカム
(短期)

何が変わる

アウトカム
(長期)

企業等への広報活動

企業主等が部隊を研修し、日ごろの活動現場を見学したり、自衛官と懇談する機会を設ける。

■ [目標] 全国の各駐屯地等における企業主等への研修機会の設定

[指標] 参加企業数

■ [目標] 企業主等が職業人としての自衛官の理解・協力を醸成。

[指標] 参加企業からの求人数

■ [目標] 企業主等（特に研修への新規参加企業）が求める人材を確保。

[指標] 新規参加企業からの求人数(割合)

援護教育の実施

退職予定者への職業訓練の設定。

■ [目標] 職業訓練機会の付与

[指標] 職業訓練の実施回数

■ [目標] 労働力として必要な職業訓練関連資格を取得

[指標] 職業訓練に関連した資格を取得した退職予定者数(割合)

■ [目標] 希望企業への再就職の実現

[指標] 資格を取得した再就職者数(割合)

R S の品質管理・改善に向けた取組<成果と課題>

成果

✓作成課とのやり取りには「法執行事務の成果」が有益

- ・何をする事業？<必要性> ⇒ アクティビティを整理
- ・この事業を実施は何に役立つ？<有用性> ⇒ 活動をブレイクダウンして目標を整理
- ・何に困ってる？<課題> ⇒ 課題の明確化

✓約20 R S の作成支援

- ・改善効果／大 → 2件（装輪車両の修理費の取得、援護業務に要する経費）
- ・改善効果／小 → 5件（短期アウトカムを新設するなど）

課題

✓ルールが浸透しない

R S の改善に向けた取組へのトリガーがない

✓推進部局は粘り強く支援に取り組む姿勢が必要

- ・事業概要を聴取～ロジックモデルを作成・提示～作成課にフィードバック
- ・長期アウトカムのみ設定した R S に対して、短期アウトカムの設定＝約1週間～1ヶ月

✓公表できる内容の壁